

# 「だまされるな！！」

～あなたの中心にもう一度神さまを！！～

創世記3：1～4

世の中には、どっきり企画ではなく、本当に人を騙すような悲しい出来事があります。この世界で一番最初に騙されたのは誰でしょう？アダムとエバです。アダムとエバはいつも神さまと心で繋がっていました。それを悪魔は妬んでいて、アダムとエバを神さまから離そうとしました。それで、神さまは園の中央にある木の実を食べると「こころ」が死ぬと伝えていたのを悪魔は「からだ」は死なないと言う意味を含ませて、騙したのです。しかし、悪魔の言うことを信じて実を食べることを選んだのはアダムとエバです。そして、本当は悪いことをしてしまった、悪かったと思っていたのに素直に「ごめんなさい」をするのではなくて「あの女が…」「蛇が…」と人のせいにしてしまったのです。今日のメッセージは「だまされるな！！～あなたの中心にもう一度神さまを！！～」という題です。今、私たちの心の中心は自分なのです。自分が中心になると次のようになってしまうのです。

## ■ ①私は悪くない

自分が心の中心になると一番最初に思い浮かぶのは「私は悪くない！」です。アダムも言いました。「あなたが私のそばに置かれたこの女が、あの木から取って私にくれたので、私は食べたのです。(3:12)」と神さまが自分のそばに置いた女のせいだと人のせいにしたのです。次にエバも「蛇が私を惑わしたのです。それで私は食べたのです。(3:13)」と蛇のせいになりました。しかし蛇は「食べても死なないよ」と言うだけで「食べる」とは言っていません。食べる決断をしたのは自分自身なのです。だから自分の罪がバレた時、自分を守るために「私は悪くない」と言うてしまうのです。また、悪魔も私たちを騙して誘惑しておきながら「私は、○○しろなんて言っていない。私は悪くない。お前が自分で決めたんだろう」と言います。悪魔と同じ事をしていて良いのでしょうか？だから、今日からは「自分は悪くない」を捨てて歩みましょう。

## ■ ②人のせい

「私は悪くない」の次にすることは「人のせい」です。でも私たちは、自分が罪を犯した時、人ではなく自分自身が悪かったことを充分知っているのです。だから、次に心に浮かぶのは…

## ■ ③どうせ私は…。あの人よりは…

「どうせ私はダメなのよ」と自分否定をしてしまいます。アダムとエバの子どものカインとアベルはどうなったでしょうか？カインは土を耕す者、アベルは羊を飼う者になっていました。ある時期になって神さまに捧げものをする時、カインは、地の作物から主へのささげ物を持ってきましたが、アベルは、羊の初子の中から、それも最上のものを持って来て捧げました。だから神さまは、アベルの捧げ物に目を留められました。それを知ったカインは嫉妬してアベルを殺してしまいました。「どうせ私は…」と思った次は「でも、あの人よりは…」と人と比較して自分を優位に保ちたくなるのです。だから、ブランド品で身を固めようとしたり、格好良い服を着たい、力任せに勝ちたい・強くありたいと思っ

うのです。しかし、このような相手を愛さない自分中心の心は不要です。ですからこれらを捨てるために…

## ■ ごめんなさい。何が悪いのか？私はここが弱い。

悪いことをしてしまった時、「ごめんなさい」を言う前に「何が悪かったから」ごめんなさいなのかを考えましょう。また、子どもを叱る時に「お前が悪い」と理由もなく叱るのはやめましょう。私たちは、何が正しい答えでどう行動したらよいのかを本当はよく知っています。しかし、それ(罪)を認めてしまうと、自分の存在理由がなくなってしまうから認められないのです。自分の弱いところは？知っていますか？私たちは、冷静な時は正しい判断が出来ますが、自分の弱いところを突かれると、冷静でいらなくなって正しい判断が出来ずに間違った選択をしてしまいます。弱いところを突かれると傷つくからです。だから、その弱さを認めればいいじゃないですか！私たちは神さまの最高傑作です。弱いところは克服できます。私たちには神さまがいます。神さまに教われば出来るのです！だって…

## ■ 見かけによらない、すごい力がある！

みなさんには、見かけによらないすごい力があるんです！！みんな、人それぞれ違います。でもそれぞれにすごい力・能力があるのです。やれば出来るのです。私たちにはすごい力があります。でも今はそのすごい力が出せないようにされています。なぜかという、「自分たちの弱いところが認められていないからです。自信が無いからすごい力を発揮する行動が出来ません。悪魔は、すごい力を発揮させまいと自信が無くなるように、私たちのプライドだけを残して自信を奪ったのです。しかし神さまは、私たちがそうできるように創造されています。だから素直に「私はこの部分が弱い」と認めて前進しましょう。

## ■ 教会で共に…

弱い部分が出来たのは、私たちのせいではありません。悪魔が、私たちのすごい力を発揮させまいと失敗の種を蒔いたのです。教会は、その種を取り除く場所です。イエスさまは、私たちのこの傷ついた心を癒すために十字架にかかられました。教会に十字架があるのはこれに力があるからではありません。自分のために悲しみを背負って死んだ人がいると言うことを忘れないためにあるのです。イエスさまは、アダムのように人を指さして人のせいにならぬように手に杭を打たれました。イエスさまは私たちが素直に弱さを認めて「でもイエスさまがこの弱さを赦してくれました。だから少しずつ変わります。前進します！！」と強さにかえるために十字架にかかられました。それを行うのが教会です。だから、教会でみんなと共に弱さを認めて「イエスさまは私を変えてくれる」と宣言して前進しましょう！！！！